令和６年度　錦東小学校 学 校 経 営 ビ ジ ョ ン

子ども・地域の実態

○ 保護者や地域のは協力的。学校に対して愛着と誇りがある。
○ 学校教育への関心が高く、信頼や期待も大きい。
○ 明るく素直な子どもたち。主体性や挨拶を含めた表現力、相手を認め合う姿に課題がある。
○児童数は緩やかな増加傾向。
○ 学区中央に交通量の多いバイパスがある。また区画整理が未完成の箇所が多く、通学路上の歩道が未整備。通学時の安全確保が必要。
○学区のほぼ全域が津波浸水想定区域にあるため、地域との課題意識の共有が必要。

教 育 目 標

ひ とりひとりが深く考える子ども
が んばりを認め合う子ども
し っかり体を動かす子ども

重 点 目 標
・　相手の話をよく聞き、自分の考えを進んで伝える子ども
・　明るく思いやりのある子ども

○第７次福島県総合教育計画
急激な社会の変化の中で、自分の人生を切り開くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる人

○いわきの学校教育ＡＢＣプラン
「夢に向かってチャレンジする子どもを育みます」

めざす学校・教師像

◎　一人一人が当事者意識を持ち、全職員が全児童の担任となる

○ 組織を生かした開かれた学校
・　一人で抱え込まず、家族的な雰囲気のもとでの同僚性の発揮
・　保護者・地域からの信頼、積極的な情報発信

○　確かな学力の定着
・　基礎基本の徹底、分かる授業の実践、学習習慣の確立
・　成功体験から自己肯定感へ

○ 豊かな人間性・社会性の育成
・　思いやり、対人関係調整、コミュニケーション能力の育成
・　一人一人が認められる場の設定と表現力の育成

心の教育
「豊かな心と社会性の育成」

【達成目標】（学校アンケ肯定的評価）

□　楽しい学校生活を送る児童90％以上を目指す
□　挨拶や丁寧な言葉遣いができる子ども90%以上を目指す。
□　思いやりの心、規則を尊重する心や態度の育成90%以上を目指す。
□　頑張りを認め、間違った行動には厳しく指導する90%以上を目指す。
□　困ったときには先生に相談し、安心した生活90%以上を目指す。

《重点実践事項》
○　「自分もよくて、みんなもいい」の意識化
・　学級活動を核とした話合い活動の充実
○　元気な挨拶や会釈、返事ができるように指導する。
・　日常のあいさつ、会釈の励行
○　道徳の時間の充実
・年１回、授業参観で実施
・考え議論する「道徳」への転換
○　縦割り活動の充実を図り、豊かな人間関係づくり
・　高学年のリーダーシップの育成
・　目上の人への尊敬の念を育てる
○　特別な支援を必要とする子どもへの支援の充実
・　インクルーシブ教育の実践化
・　関係機関との連携強化

学力向上
「楽しい授業、分かる授業」

【達成目標】（学校アンケ肯定的評価）

□　学習に対する意欲をもたせ、学力の定着90%以上を目指す。
□　NRT学力偏差値を前年度比＋２ポイントを目指す。
□　分かる授業の実践を進め、自分の意見を述べる90%以上を目指す。
□「家庭学習の手引き」等を活用し、学習習慣の定着90％を目指す。
□　ノーメディアデーの意識化の定着80％を目指す。

《重点実践事項》
○　教科の学力を高める。
・　子どもたちの学力の実態把握
・　個に応じた指導の充実
・　学習規律の徹底
・　校内研修の充実（特別活動）
○　質の高い集団づくりを目指す。
・　共に学び合う集団づくり
・　相手の話を聞き自分の意見を積極的に伝える
・　家庭での学習習慣の確立
・　ノーメディアデーの推進
○　保幼・小・中の連携の推進
・　校種間の円滑な接続
・　方部や中学校区での共通実践
・　スタートカリキュラムの実践
・　勿来カトリック幼稚園、錦星こども園との交流会の実施

体力・健康
「たくましい心と体の育成」

【達成目標】（学校アンケ肯定的評価）

□　健康や安全に気をつけて生活できる子ども100%を目指す。
□　体力向上への取り組み90%以上を目指す。
□　学校行事や各種体験活動に積極的に参加する90%以上を目指す。
□　健康診断結果の周知100％
う歯治療完了率70％以上を目指す。
□　避難訓練や交通教室への積極的な参加による自分の命は自分で守る意識化90％以上を目指す・

《重点実践事項》
○　「早寝・早起き・朝ご飯」の基本的生活習慣の確立に努める。
・　食育の充実と家庭との連携
○　体力づくり運動を計画的に取り入れ、体力や運動技能向上に努める。
・　運動身体プログラムの完全実施
・　朝の業間運動による体力づくり、なわとびやマラソンカードの継続使用と実践
○　健康教育の充実に努める。
・　感染症拡大防止
・　養護教諭や外部講師との授業実践
・　学校保健委員会の活用
○　危険予知能力を育成し、命を守る行動とけがの防止に努める。
・　地区と連携した避難訓練の実施
・　清掃と施設設備の整備
・　安全な登下校の徹底

家庭・保護者の教育力ＵＰ

□　学校の教育目標や重点目標を積極的に情報発信90%以上を目指す。
□　ＰＴＡ行事や授業参観等への積極的な参加の啓蒙。
○　保護者や地域の要望に対して、丁寧に対応していく。

地域の教育力ＵＰ

○　地区や関係機関と連携した津波想定避難訓練を行い、共同連携体制を強化する。
○　公民館との連携や地域人材の活用を積極的・効果的に進める。
・授業での外部講師の活用、土曜学習への参加
○　学校評議員の意見を学校経営に生かす。